

## 4 <sup>てきしん</sup>摘心 (ピンチ)

苗のボリュームを増やし、姿を美しくするために「摘心 (ピンチ)」を行います。摘心は生育初期に芽先 (芽の生長点) を摘み取ることで、すぐ下から複数のわき芽が出てきてボリュームが増え、姿が美しくなります。



何度か行うことで  
自分好みのボリューム  
にすることが可能です

### ワンポイントアドバイス！

例えば、マリーゴールドは本葉が4組ほど出揃ったら、ペチュニアは草丈が7~8cmになったら摘心しましょう。

# 苗を育てよう

## はなめ 5 花芽 (つぼみ) を摘む

苗を植えつけるまでは、花芽 (つぼみ) ができたら取り除きます。花を咲かせるのに使う養分を苗全体の生長に使うことができ、丈夫な苗に育ちます。



ワンポイントアドバイス!



一度花芽を摘んでしまうと、次の花芽ができるまでに時間がかかるので、花芽を摘むのは植えつける1週間前までにしましょう。

## 6 苗を植えつける時期(定植)です ていしょく

トレイ内に十分に根がまわる頃が植えつけ(定植)の時期となります。目安としては、晩霜の心配がなくなる5月20日以降(その年の気候によって変動しますので注意してください)が植えつけの適期となります。

そろそろ植えつけです！



根がまわりすぎている場合には  
ほぐしてあげましょう



# 苗を植えよう

## 1 植えつけ（定植）の準備

植えつけ（定植）の前に植える場所や器を準備しておきましょう。



苗が大きく育ったら  
一回り大きな鉢やプ  
ランター、花壇など  
に植えつけます。



例えば...こんな鉢・プ  
ランターがあります。



## 2 土づくり

土づくりは花づくりの基本です。今まで何も植えられていないような所や、土が固くなっているような所は、土壌改良が必要です。

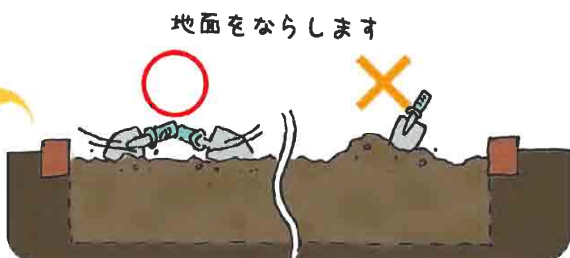
30cmくらい掘り起こして  
耕し、柔らかくします。雑  
草や木の根、石などは取り  
除きます。



腐葉土やピートモス等を、  
1㎡あたり20リットル程  
度よく混ぜ合わせます。水  
はけが悪ければ火山礫等  
を入れます。堆肥や石灰、有  
機肥料等を入れる場合は、  
植える2~3週間前に混ぜ  
ておきましょう。



植えつけ時は土をならし、  
緩効性肥料※を入れるとよ  
いでしょう。



ワンポイントアドバイス！

※緩効性肥料とは、与えた時から肥料効果があらわれ、長期間効果が持続する肥料のことをいいます。

# 苗を植えよう

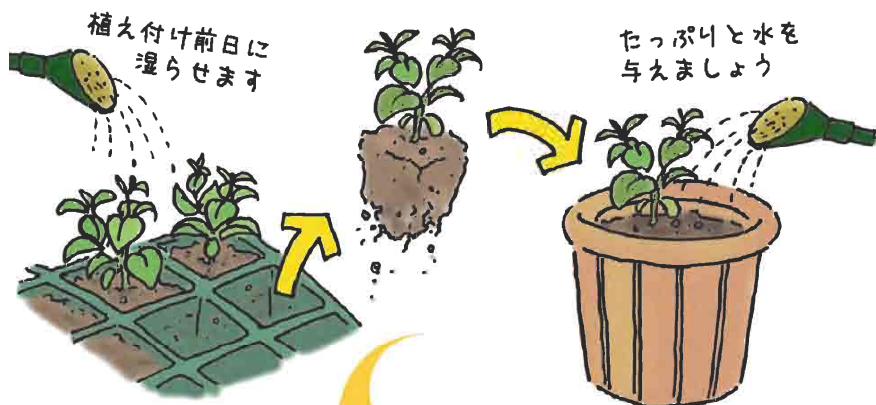
## 3 苗の植えつけ

植えつける時は小苗、ポット苗等が乾いていたら根鉢が崩れてしまうことがあるので、前日にたっぷり水をやって湿らせておきます。

苗と苗の間は20～25cm程度とし、花の大きさやデザイン、苗の数で調整しましょう。

植えつけ後は、苗が土になじむように水をたっぷり与えます。その際、苗に水がかからないように根元に与えましょう。

### 植えつけの基本



根がまわりすぎていたら底の部分や横をほぐしたりしてから植えましょう。

ワンポイントアドバイス！

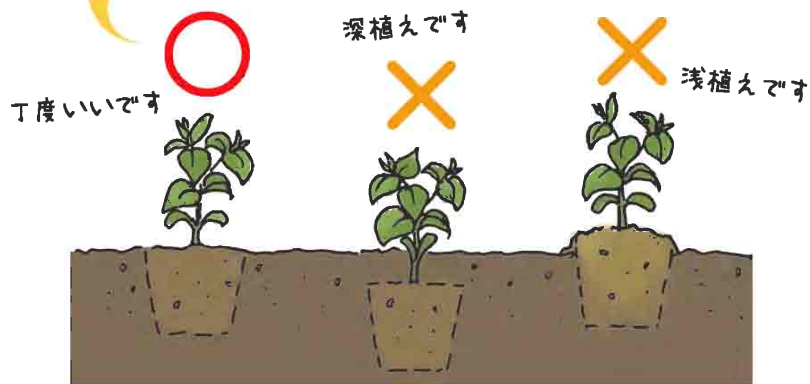


咲き終わった花がらや黄ばんだ古葉などは取ってから植えましょう。

花壇・植樹ます・植樹帯への植えつけ



植えつける深さは、苗の地際（根元）の表面と花壇の土の表面が同じになるように植えます。深植えになったり、逆に水をやったときに周りの土が沈んで苗の根鉢の部分が浮きでてしまうような浅植えにならないように注意しましょう。



種まき

発芽・生育

開花

摘とり

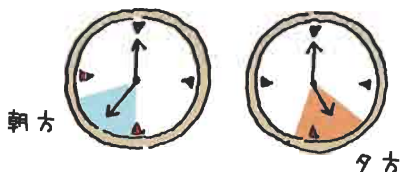
花が終わった後の管理

# 苗を植えた後の管理

## 1 水やり

屋外に植えつけた場合、基本的には自然の雨に任せますが、札幌は梅雨がなく、降水量が少ないため、水やりが必要となります。

水やりは植物の根元に朝や夕方の気温の高くない時間帯にしましょう



根が弱くなるので頻繁に水を与えないようにしましょう（乾燥したときに静かにたっぷりと水を与えましょう）



土の乾燥は、直接目で見る、触ってみるとわかりやすいです。花がしおれ気味になっていたら水やりが必要です。